

〈NGO・外務省定期協議会 議題案／質問状記入シート〉

締め切り【2月7日（金）】 送信先：oda.advocacy@gmail.com

*分量は問いませんので、必要に応じてページ数を追加してください。

*複数の議題（案）を提案される場合でも1議題ごとに1）～5）を記入ください。

1. **議題案名**：【報告事項】「NGOとODAの連携に関する中期計画」タスクフォース設置および議論の進捗状況について

2. **議題の背景**：

NGO・外務省定期協議会2013年度「全体会議」（6/10開催）において、阿部俊子外務大臣政務官（当時）より「外務大臣からは、国際協力の重要な担い手であり、不可欠なパートナーシップである NGO の皆様と、今後、さまざまな分野において一層連携を強化していく方針であるので、引き続きよろしくお願ひしたいとメッセージをお伝えする」との発言があった。

7/16に開催された「第1回連携推進委員会」においても阿部大臣政務官より「これまで打ち出してきた NGO 連携支援の柱を軸としつつ、NGO 側から新しい提案を受ける形で、NGO と外務省が中長期的なビジョンや目標を共有し、それに向けて双方が連携しつつ、具体的な行動を考えていくことが、お互いの協力に一層の効率と効果をもたらすのではないか」との発言があり、それを受け、国際協力NGOセンターの大橋理事長が「外務省と具体的に協議を重ねていきたい。ただし、NGO は多様性が命なので、まとめるのは簡単なことではないが、なるべく意見をまとめたほうが最終的には利益になる。」と発言し、「NGOとODAの連携に関する中期計画」（案）を策定することがNGO・外務省双方の間で合意された。

その後、NGO・外務省定期協議会の連携推進委員およびODA政策協議会コーディネイター、過去に策定された「NGO との戦略的連携に向けた5ヵ年計画」（2007年度～2011年度）に関わったNGO関係者から希望者を募り、合計8名のNGO側タスクフォースを設置し、外務省とこれまでに2回会合を行っている。これまでに取り上げた議題は以下のとおり（ただし、aとfについては2月24日実施のタスクフォース会合で取り上げる予定である）。

- ・ 目的
- ・ 基本方針
 - a. ODA政策決定過程の情報公開とNGOの参加の強化
 - b. ODA本体事業へのNGOの参入の拡大
 - f. NGOのネットワークおよび政策提言活動への支援
 - g. 市民による多様な国際協力活動の支援環境整備

3. **議題に関わる問題点（議題に上げたい理由）**：

「NGOとODAの連携に関する中期計画」の進捗状況をODA政策協議会で共有するとともに、沖縄開催の機会を活用して、多様な団体と意見交換を実施するため。

4.

外務省への事前質問（論点を詰めるために事前に確認しておきたい事実関係など）

：

・特になし。

5.

議題に関わる論点（定期協議会の場で主張したいことや、外務省に確認しておきたいと現段階で考える点）
--

：

特になし。

※外務省からの事前質問の回答によって変更することは可能です。

- 氏名：山口 誠史
- 役職：事務局長
- 所属団体：特定非営利活動法人 国際協力NGOセンター